

# ご長寿おめでとうございます

## 藤井フサエさんが満100歳に

4月20日、満100歳の誕生日を迎えられた藤井フサエさんのもとを佐々木副町長が訪れ、長寿祝い金を贈呈しました。

長寿の秘訣はなんですかと尋ねると、「いつまでも怒らず、溜めないこと」と答えられた藤井さん。現在はデイサービスに行くのを楽しみにしているそうです。

これからも元気で過ごしてください。



## 大澤雷二郎さんが満100歳に

5月1日、満100歳の誕生日を迎えられた大澤雷二郎さんのもとを松田町長が訪れ、長寿祝い金を贈呈しました。

これまで、「自分は元気だし、人に迷惑をかけないように」と暮らしてきたという大澤さんは、現在もごはんの支度など、自分のことは自分でしているそうです。

これからも元気で過ごしてください。



## 今年も大盛り上がり

## 航空自衛隊北部航空音楽隊コンサート

5月14日、今年で21回目となる、自衛隊音楽コンサートが美郷町公民館で開催されました。今年も会場が満席になるなど、このイベントに対する期待が感じられました。

前日には北部航空音楽隊の皆さんが美郷中学校を訪れ、吹奏楽部の生徒に指導を行うなど交流し、コンサート最後の演目では、美郷中学校の生徒と合同で美郷町民歌「光あふれて」が演奏されました。

アンコールでは、更に町内外のコーラス団体も参加し、「大いなる秋田」を合唱。会場に音楽の輪が広がりました。

また、音楽隊の演奏による美郷町民歌と各小中学校の校歌が収録されたCDや楽譜を贈呈していただきました。町民歌は美郷町役場の電話の保留音として活用させていただいています。

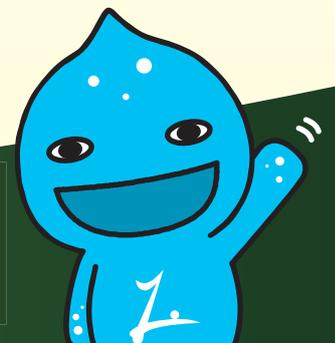


## 美郷を都会へ売り込もう

## ごはんの教室&農業体験のすすめ

5月12日、13日に東京都大田区で「ごはんの教室&農業体験のすすめ」が開催されました。秋田県五つ星お米マイスターである篠木郁子さんが美郷米をおいしく炊くコツを伝えるため、精米の仕方の違いや洗米の仕方などの講義を行いました。

試食では、ふっくらとおいしそうに炊き上がったごはん（特殊栽培米と金のいぶぎ）と、美郷町産野菜などを使用した農産加工品に、参加者たちは自然と笑顔になっていました。



## セルフチェック コーナーを ご利用ください

保健センターで簡単に  
健康チェック!



町では、平成26年10月に「美郷町セルフケア推進方針」を策定し、「住民の健康長寿と医療費の適正化」に向けての取り組みを実施しています。これに伴い、美郷町保健センターに「セルフチェックコーナー」を設置しています。このコーナーでは、左記のような健康チェックができます。使用料は無料です。使用方法などは保健師が指導しますので、お気軽にご利用ください。

### 「チェックできる項目」

身長、体組成（体重、体脂肪率、BMI、基礎代謝量など）、血圧測定、自己血糖値検査、尿検査（尿糖、尿たんぱく、尿潜血）、乳がんモデルの展示

利用日 ●月～金曜日（祝日、年末年始を除く）  
利用時間 ●午前9時～午後5時  
（正午～午後1時を除く）

※保健センターの事業等で保健師が対応できない場合がありますので、事前にお問い合わせください。

問

美郷町保健センター

☎0187(84)49000



航空自衛隊北部航空音楽隊  
コンサートにてあいさつをする松田町長

## コラム 風 「フカフカを求めて」

美郷町長 松田知己

昨年から「〇〇ファースト」という表現をよく目にします。

自分の利益を優先する意味合いですので、一見良さように見えますが、果たしてどうでしょう。か。理解の仕方や考え方を誤ると、私はその先に大変な社会が待っているような気がしてなりません。

申すまでもなく、私たちの社会活動は自己完結を許容する分

野、事柄が極めて少ないです。

事柄の完結には、ほぼ他者との関係性が存在し、結果、他者との折り合いも求められ、それが適切でなければ社会活動はうまく回っていかないと思います。

一方、〇〇ファーストという言葉は、現在のところ国や都道府県レベルで言われていますが、レベルを下げると組織ファーストになり、さらに下げると自分ファーストに至ります。考え方を誤れば自己中心、いわゆるジコチューで「自分さえ良ければよい」という考え方に至る懸念があります。残念なことに、現代は価値観多様化をいいことに、何が社会常識かに考えが至らず、簡単に「自分とは違うから排除」というジコチュー化、いわば自分しか見えない心のジコチュー化が広がっているように思います。そのため、〇〇ファースト

に懸念を覚えるのは、きっと私だけではないだろうと思います。こうした懸念を払拭するには、何より他者の価値観を受け止める心、いわば心の柔軟性が必要ではないかと思えます。そしてそれを高める機会が、人それぞれですが、やはり芸術文化が持つ意味合いは深いものと私は思います。なぜなら芸術文化は昇華性の高い表現分野で、表現者の価値観を感じ、受け止めやすいと思うからです。美郷町がこれまで、学友館や公民館、小・中学校で芸術に触れる機会を意識して設けてきたのも、こうした認識が底流にあります。

そうした考え方のもと、今月24日からは新版画を確立した川瀬巴水の企画展を学友館において開催します。友好都市大田区のご協力で実現した企画です。みなさんには是非とも足を運んでいただきたいと思えます。そして川瀬巴水の世界観を感じるとともに、その価値観を受け止める、心をフカフカにしたいです。